経済環境常任委員会行政視察報告

経済環境常任委員会では、春日部市と青森市を行政視察しました。
概要は以下のとおりです。

（実施期間）　令和７年５月 13 日～５月 15 日
（視察都市）　春日部市、青森市
（視察内容）　春日部市：ごみ収集のＤＸ化について
　　青森市　：青森市農業ＤＸ推進事業について

〔春日部市〕

春日部市では、ごみ収集のＤＸ化について説明を受けた。

春日部市は、ごみ収集において問題となっている、増加し続けるごみ集積所の管理及び収集作業員の将来的な人手不足を解決するため、庄和地区において廃棄物収集効率化実証事業を実施している。

実証事業の内容は、集積所情報のデータ管理によって収集ルート及び収集状況の見える化（現状把握）を図るもので、これにより収集業者の負担減及び人手不足の改善につなげることを当該事業の目的としている。なお、情報の登録・把握に当たっては、廃棄物収集効率化システム「収集しマース」を利用している。実証事業は現在も継続中だが、現在の成果としては、これまで紙の地図で管理していたごみ集積所の位置・数について、システムへのデータ登録が完了したことにより、情報共有が容易となったことが挙げられ、これにより、収集時の現場確認、市民からの問い合わせ対応等が効率化された。

今後の課題としては、ごみ収集車接近時の集積所の自動検知率の向上、ごみ収集車の位置情報喪失の軽減、庄和地区の約７倍のごみ集積所が存在する春日部地区における登録作業の実施が挙げられる。

委員からは、ごみ集積所の登録方法や、「収集しマース」に登録した情報の活用方法などについて質問が出された。

（春日部市での視察風景）

〔青森市〕

青森市では、青森市農業ＤＸ推進事業について説明を受けた。

生産農家の減少、高齢化及び後継者・担い手不足が進むなか、次世代を担う若手農業者の育成・確保及びスマート農業の普及に取り組むため、青森市は令和元年度から令和６年度にかけてスマート農業普及対策事業を実施した。令和７年度からは、ソフト・ハード面でのデジタル化が加速していることから、スマート農業機器のみならず、経営、栽培診断等のデジタル化の導入及び就農意欲の醸成を図るため、青森市農業ＤＸ推進事業を実施している。

青森市農業ＤＸ推進事業では、スマート農業の普及に向けた取組として、青森市、農機具メーカー、農業協同組合等の関係者が構成員となり、スマート農業の普及に関する情報を交換する青森市農業ＤＸプラットフォームの設置及びスマート農業機械の展示実演会・成果報告会を行う青森市スマート農業フェアを実施している。また、農業者への補助事業として、スマート農業機器及びＲＴＫ－ＧＮＳＳ基地局を利用するための受信機の購入費用に対する補助も実施している。

今後の課題としては、デジタル分野の栽培管理及び経営管理のＰＲが挙げられ、デジタル技術を利用した農業を始めることについて抵抗感が強い年代の農業者に対して、スマート農業の普及に向けた広報活動を行うことが課題となっている。

委員からは、コンバイン等の農業機械を完全無人で操作を行うことが可能かどうかや、栽培診断のデジタル化の具体例などについて質問が出された。

（青森市での視察風景）